

なまろーど

The Name Road

ホームページアドレス
<http://www.ranshokai.jp>

E-mailアドレス
info@ranshokai.jp

発行所 高岡教区寺族青年会
住所 〒933-0878
高岡市東上関466
西本願寺高岡会館内
発行人 飛鳥 寛静
編集者 広報部
発行日 2008年3月31日

ご挨拶

鸞翔会
第十七代会長 飛鳥 寛静



平素より、寺族青年会の活動に多大なご理解とご協力をいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。また、各行事にてサークル活動の発表の場をいただいておりますこと、重ねてお礼申し上げます。

去年、当会の資料を整理していた際に一枚の集合写真が出てきました。「祝寺族青年会結成大会」と書かれた看板の下に多くの青年たちが集い、瞳を輝かせています。その眼差しから、将来に対する希望や誠実さがひしひしと伝わってきました。

それから三十四年の月日がたちました。それは現在の私の年令です。現会員のほとんどは写真の中の青年たちの子の世代となりました。諸先輩方がいろいろな願いか

ら始められ、それぞれの世代で変容させながら受け継いでこられた会活動は、主体的に社会の中のアイデンティティを問い続けることにその目的があったと思います。今、当会は厳しい状況にあると思います。蔓延する「人ごと」意識から当会の意義そのものが見失われそうになっている状況といえるでしょう。社会で起きている諸問題と寺院活動とがつながらない。寺族であることの意義や生き方が見つけにくくなっていることから、内向きの議論に終始してしまうのです。

このことは、地域社会のなかの諸活動が停滞ぎみにある現実と無関係ではないでしょう。人と人とのつながりが希薄になりつつあることは、日常法務に携わる私たちが一番よく知るところです。私たちが例外ではありません。自分の見える範囲内の世界に閉じこもる傾向にあるといった方がわかりやすいかもしれません。

しかし、そういう現実だからこそ、嘆くのではなく、つながり合うことの喜びやすばらしさ、問題を共有化し、自分の範囲外へはたらかける力を秘めているのだと発見する。そんな取り組みを目指

して、今年度はまず自分たちの足下を見直す取り組みをしてきました。あたりまえの中に大切なものがあることを気づかせてもらい、そこから何を見つけて行けるかを来年度への課題がいくつか見つかりました。

来年度は十二年ぶりに浄青僧の理事担当教区として全国大会を主催する予定になっています。これまでのつながりを大切にしながらこれからも続けて行きたいと思っております。今後とも皆様の叱咤激励をよろしくお願い申し上げます。

合掌



1975年（昭和50）8月24日
寺族青年会結成大会
（於：読売会館大ホール）

基幹運動研修会

草野 雅信

去る十二月二十四日、西本願寺高岡会館礼拝堂に於いて、二〇〇七年度基幹運動研修会が多数の参加で開催された。

今回のテーマは「愛国心ありますか？」である。聞き慣れない「愛国心」という単語に引っかかりながら、問題提起を聞いていた。この言葉が明治時代に使われるようになったこと、意味、時代背景、現代に於ける捉えられ方などの説明を受けた。その上で、それぞれの意見をも、×で表明し、一回目の班別討議を行った。私は、愛国心は無いと答えた。戦時中の兵隊や国民などが用いる言葉のイメージがあったからだ。

討議後、今回のご講師である真宗大谷派大福寺ご住職の太田浩史さんよりお話をいただいた。班別討議の講評をしていただきながらその中に二回目の班別討議のテーマとなる「土徳」という単語が出てきた。「土徳」とは、宗教哲学者の柳宗悦が、南砺地方の真宗門徒の



日々感謝しおかげさまの生活をしている姿を見て、出てきた言葉である。この言葉のイメージを班別討議し、失われつつあるが失ってはならないものという意見が多かった。

以上を踏まえ、太田さんよりまとめをいただいた。真宗の戦国時代からの歴史に学び、お講の大切さ、真宗門徒である事を誇りに思っ
てほしいと力説された。私は、改めて日暮らしを大切にしなければならぬと考えさせられ、意義のある時間を過ごした。

寺青連研総まとめ

吉江 宗淳

今年度の寺青連研は、教区内の地域ごとに担当を分担し、開催した結果、それぞれ特色のあるものとなった。

第一回連研は勝興寺の本堂をお借りして「世のなか安穏なれ」をテーマに行われた。参加者は事前にご門主が著された『世のなか安穏なれ』を一読し、研修会ではその中で触れられている「浄土真宗本願寺派の現状と今後」という内容を中心に話し合った。いま教団が抱えている課題を、著書を通して考えると共に、それぞれの地域・寺院がどのようにしていけばよいか意見を交わした。座談会を通して、今後の具体的な展開についてそれぞれ思いはあるものの、まだ実行・実現するには至らない状態であるように思えたが、現状を何とかしなければならぬ思いは共通であると感じた。

第二回連研は井波の瑞泉寺に伺い、そこで職員の方から説明を受け、その後閑乗寺のコテ

ジで座談会を行うという形式で「瑞泉寺の歴史と井波の土徳」をテーマに開催された。実際に瑞泉寺を訪れ、歴史を知り、そこで育まれてきた信仰に触れることは、私たちの今の寺院のあり方を振り返る意味でも有意義であったと思う。座談会では、信仰に支えられ土地に育てられてゆくことを、「土徳」とは何かということもふまえて話し合われた。寺院が果たしてきた役割、存在意義とは何か、そして信仰を通しての地域との結びつきとは何か、活発に意見交換がなされた。



瑞泉寺本堂にて説明を受ける

第三回連研は「青年僧侶の現状と今後の課題について」をテーマに高岡会館にて行われた。

まず、法務の他に仕事をしている兼職者の会員一名より発表があった。仕事の内容、兼職であることの利点や課題、思いなどを話してもらった。その後、参加者全員で車座になり、普段の生活、法務のなかでの疑問などを話しあった。

今回の連研では具体的なテーマを設けなかったため、休日の過ごし方や月参りの事、地域との関わり方など様々な方向へ話しが広がっていった。そして、普段の生活のなかで浮かんでくるささいな疑問を話し合った。だが、どんな小さな事であっても、皆で話し合うことによりそこに大切なものや新たな発見がある、と気づかされた連研だった。

浄青僧本山総参拝

二〇〇八年二月五日

楠 幸治

本山にて「浄青僧本山総参拝」が『楽』「みんなこれから何をやる?」をテーマに開催され、

高岡教区寺族青年会鸞翔会として十二名が参加いたしました。



「しゃべれ場」と題した班別討議

昨年二月に行われた「浄青僧全国大会 in 安芸」は、「変わりえない本質を伝える楽」・「ディズニランドにみる楽」といった『楽』を重点とした様々な視点からの『楽』を考える全国大会でした。

そして今回は「みんなこれから何をやる?」に重点を置いての研究会でした。

ご講師に、FMラジオミュージーパーソナリティー、劇団指導員(雪ん子劇団)、HP作成など幅広い活動をされている雪山俊隆(富山教区・善巧寺住職)さんをお迎えしまし

た。雪山さんは「アナログとデジタルのよい関係」と題して、ご自身の具体的な活動を通しての経験談や現在抱える悩み、思い等を元に提言されました。

お話された中で、劇団のキャッチフレーズ「生きた言葉を使っていますか?」「家族皆で話していますか?」「自分の思いをハッキリ表現していますか?」を紹介され、とても印象深かったです。

講演が終了し、班別討議(しゃべれ場)へと流れました。この研究会には総勢百数十名が参加され



懇親会では二人羽織りで優勝!

ており、全八班に分かれ、個々の教区団体の活動や寺院活動での悩み、疑問または今後の課題を共有

しました。

今回の本山総参拝では、会活動などで得た経験を今後どう法務・寺院活動に活かしていくのか改めて考えさせられました。

北陸ブロック

真宗青年のつどい

二〇〇七年九月八・九日

岡部 柁子

今年度は『しょう☆タイム』—あなたの(しょう)をさがして—をテーマとして岐阜で開催されました。

一日目は自分にとっての「しょう」とは何かという問題提起を受けた後、五班に分かれて金華山のウォークラリーをしました。ロープウエーで楽に登ることができるようですが、自然から元気をもらいながら自分の足で時間をかけ、汗を流して山を登ったせいなのか、頂上からの眺めは格別なものでした。

二日目は自分にとっての「しょう」とは何かをテーマに班別の話し合いをしました。大晦日に除夜の鐘を突き、その音を聞くと何となく心落ち着くというので「鐘」

人は何かしら背負って生きていると感じることで「背負う」、笑顔の「笑」、その他に「称」、「床」、「焦」、「show」、など一人一人それぞれ「しょう」を発表しました。他の人の意見を聞いていく中で、人は生まれてきて家族をはじめ、今まで出遇ってきた人々のあたたかい心に生かされているのだということに改めて気づかされました。

それぞれ違う年代・生活をしていますが、たった二日間を共有し話し合うことでも人のぬくもりを強く感じます。人間関係が希薄と感じる今現在、人々のつながりを大切にしていきたいと思えます。

浄青僧全国フットサル大会

水上 賢志

十月五日(金)、東京のBIGF UN平和島スタジアムにおいて全国フットサル大会が開催された。鸞翔会からは会員三名、OB一名が参加。前日には築地別院において親睦会も行われた。この大会には浄青僧加盟団体の他、新潟教

区、奈良教区、築地別院の若手職員ของทีมも参加。

当日は十月とは思えない陽気に



めぐまれ、熱戦が繰り広げられた。

さて、わが鸞翔会チームLOTUS TAKAOKA FCは、東青僧、山陰の楽法会の方々と協力して、見事初勝利をあげた。誰でも気軽にできるフットサル

というスポーツを通じて、他団体との交流が深められた有意義な大会だった。



浄青僧全国大会、はーじまーるよー！

実行委員長 向田 永朗

浄青僧（正式名称 浄土真宗本願寺派青年僧侶連絡協議会）は、昭和56年に行われた全国の青年僧侶による本山総参拝を契機として発足しました。この幅広い結集を基に、研鑽・親睦・情報交換を目的とした全国大会を、各教区持ち回りで開催することとなり、これまで20回の歴史を重ねてきました。

現在、浄青僧には、北海道教区青年僧侶協議会、東京教区青年僧侶協議会、大阪教区のチッタ大阪、山陰教区の楽法会、備後教区の備龍会、安芸教区の春秋会、そして我ら鸞翔会が加盟しており、今年度は遂に、高岡教区が全国大会の舞台となるのです。

全国大会をするということは、私たちが積み重ねてきた活動を全国に発表できる場を与えられた、ということです。私たちは今大会の中心に、ここ数年取り組んできた『ハンセン病問題』を据えました。

鸞翔会が問題を提起し、他教区の同朋と意見を交換し、互いに触発され合い、今大会のテーマ「共に生きる」を確認し合う、この作業が、明日の浄土真宗を作っていくのです。

会員みんなが、やってよかったと思える大会にしましょうね。



声 明 サークル

声明サークルでは、一年を通じて月二回程度のペースで声明の練習を行っています。

今年度の前半は、恒例となりつつある七月の「井波別院永代経」の出勤に照準を合わせて練習を重ねました。当初は前回と同じ作法にして、より完成度を高めようと考えていたのですが、メンバーからの「今年は五会念仏作法で勝負したい!」という熱意に押され、前回よりも難易度の高い作法に挑戦することになりました。井波別院の全面協力のもと習礼を繰り返し、本番は職員の方々に賞賛して

いただいたほど質の高い勤行ができました。打ち上げは、夏らしく流しそうめんを食べました。

後半はしばらく行事がありませんでしたが、葬場勤行や報恩講、音楽法要など幅広い声明の練習を行い、最後は三月に開催された「ねっと輪くく二〇〇八」で無事に一年を締めくくりました。

年間の活動内容も固まりつつありますが、声明サークルでは常に新しい刺激を求めています。来たれ若人よ。来年度こそは。

代表 岡田 覚

手 話 サークル

今年度の大きな収穫は二つありました。

一つは、ろう者劇団「おんにょろ座」の脇坂菊雄さんに手話を教えて頂くスタイルが、軌道に乗ったこと。当初は不安だったんです。昨年までは、菊地真由美さんという通訳を介して脇坂さんと接していた感がありました。現在、サークル員達は積極的に手話を使い、脇坂さんとのコミュニケーション

を築いています。勿論、まだまだ勉強不足な点は多いのですが。

もう一つの収穫は、手話コースが好評を得はじめたことです。手話コースを覗て下さった方達が、「私でも覚えられた」「サークルに来てみたい」と感想を言って下さるようになったのです。これは励みになりました。

今年度の収穫を糧に、これからも手話の腕に磨きをかけていこうと思います。

代表 向田 永朗

雅 楽 サークル

雅楽の練習会…その正体は、「雅楽が縁の交流会」です。

さて、昨年も皆さまのおかげで、全部で二十回余りの練習会を開催できました。また、縁あって、コーラスさんや手話サークルさんとの共演・お寺での奏楽の機会など、思い出深い経験が出来た素晴らしい年でした。関係してくださった皆さまに感謝いたします。

さて、今後、どのように活動していくのかまだ未定ですが、機会

がありましたら、また宜しく願いいたします。

代表 河合 宣彰

蓮 花 の 会

蓮花の会は寺族青年会の女性会員のサークルです。年々の女性会員減少によりなかなか大きな活動はできませんが、少人数、女性ならではの活動をいたしました。

お食事会を催し、日頃の寺院生活での悩みを話しあい、親睦を深めました。夏には、会員のお手製レシピを基にロールケーキを作り、頂きながら「英語で学ぼう真宗講座」と題して勉強会を行いました。又、昨年に引き続き、第二回「歎異抄講座」をいたしました。こちらは第三回の予定もいたしておりますので、会員の皆様、OBの皆様と、多くの方に参加して頂きたいと思っております。来年度も女性ならではの活動を行い、学びを深めていければと思っております。

代表 巻端 真紀

退会者より一言



川上組 空泉寺
安達 秀憲さん

寺青に入会してから七年が経過し、気付けば退会の年齢になっていました。

色々な事を一緒に学ばせて頂き、そしてまた、今後を含めた大事なつながりを持つ事が出来たように思います。本当に有難うございました。

合掌



川上組 等覚寺
河合 宣彰さん

気付いたら、もう退会！寂しい気もしていますが…色々有り難うでした。



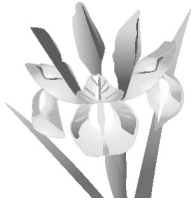
射水組 妙安寺
兒玉 淳成さん

お酒を飲んでいたら退会年齢に到達していました。みんなに出会えてとても楽しかったよ。また会おうね。



川上組 教念寺
高桑 雅光さん

高岡は遠かった…。



水波組 千光寺
高橋 博美さん

在会中は発会記念パーティーやダーナ・バザーなど色々な経験をさせていただいたことや、たくさんの方々とお会いし、お話しできたことが私にとって大変貴重な四年間でした。これからの寺青の活躍を念願いたします。



氷見東組 常尊寺
段證 武邦さん

飛鳥さんに誘われ、入会しました。バザー等に参加し、いろいろな人と知り合えてよかったです。今まで会員の方にはお世話になりました、ありがとうございます。



氷見組 蓮浄寺
巻端 克文さん

この度寺族青年会を退会させていただきますことになりました。自分あまり活動に参加できませんでした。自分ですが、たまに参加したときは暖かく迎えてくださってありがとうございました。今となってはもっと参加すればよかったと後悔しており、改めて「今」の大切さを実感しております。今後とも素晴らしい活動を続けていって下さい。



氷見組 蓮浄寺
巻端 真紀さん

早くも退会の年齢になってしまいました。

寺青に入会し、素敵な出会いが沢山ありました。それを何よりの宝と思ひ、皆様と尊い学びの時間を共有することができた事に深く

感謝いたしております。ありがとうございます。うございました。今後の寺青のさらなる発展を願っております。



新湊組 妙蓮寺
増山 玲子さん

寺族青年会の様々な活動を通して多くのことを学ばせていただきました。どうもありがとうございます。



川上組 伝教寺
吉江 宗淳さん

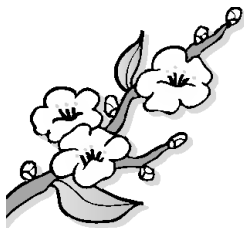
寺青は、人も含めたいろいろな出合いの“場”でした。この出会いをこれからも大切にしていきたいですね。ありがとうございます。



水見西組 専徳寺
高尾 朋昭さん

もう退会する年になってしまいました。

勤務しているためかあまり会には参加できませんでしたが、時には貴重な体験もさせていただきました。うまく伝わったのかわかりませんが、一昨年に寺青連研で施設利用者とのコミュニケーションのとり方についての発表もさせていただきました。こういう機会を作っていただき、こういう機会を作っていたいただきました寺青役員及び会員の皆様に感謝しています。又、会員の方との出合いから素晴らしい時間を過ごさせていただきました。本当にありがとうございます。



新入会員の紹介

新入会員の方にインタビューしました。

- ① 趣味または特技
- ② 苦手なものは？
- ③ 何か一言



水波組 速願寺
勝山 忠顕さん

- ① 趣味は読書、特技はすぐ寝れること
- ② ゆず
- ③ 今年はダイエットをがんばろうと思っています。



関野組 専称寺
楠 北斗さん

- ① スキーなど
- ② 早起き
- ③ わからないことだらけですが、よろしく願います。



砺波組 真光寺
清水 了渉さん

- ① スキー
- ② 辛い食べ物
- ③ よろしく願います。



川上組 順勝寺
長井 教行さん

- ① 音楽探し
- ② 食べ残し
- ③ 私？私は野辺に咲く一輪のバラの花。



新入会員募集

高岡教区寺族青年会では随時新入会員を募集しています。

気軽に参加しませんか。



ホームページ

<http://www.ranshokai.jp>

ホームページ
随時更新中!!



発会三十周年記念報告集
「共に生きるいのちとは」
—私の中で動き出す
ハンセン病問題— 発売中
一冊、五〇〇円。
お問い合わせは高岡教区教務所
☎二二一〇八八七または
<http://www.ranshokai.jp>まで。

法輪せんべいのご案内

法輪せんべいは、当会が販売する法輪マークと法語が印された一袋二枚入りのおいしいせんべいです。ご法要のお供えにお茶受けやご贈答などに幅広くご利用いただけます。(※表示してある価格は、いずれも販売価格です。)



パッケージはサクラと若草色の二色です。



写真上は大箱(45袋入り) 2,000円

品目	袋数	価格
特大	170	7,000円
大箱	45	2,000円
小箱	16	900円

お申し込み、お問い合わせは 〒933-0003 高岡市能町1298 本誓寺内
耳浦 康真まで ☎/FAX(0766) 23-9822



レバーを捻る方向を変えるだけの節約術。簡単ですから皆さんも試してみてはいかがでしょうか。

という訳で、家に限らず色々な場所でも気を付けることにしました。

レバーを捻る方向を変えるだけの節約術。簡単ですから皆さんも試してみteはいかかでしょうか。

みなさん、トイレの大小レバーどちらで流してますか？私には常に「大」なんです。実はあれ、大小で二リットルもの差があるんだそうです。二リットルといえばちょうどペットボトル一本分だから、かなり違いますよね？それが家族全員の一月分ともなると、ものすごい開きがあるわけ……。

今までなんて無駄遣いをしていたんだろうと思ひ知らされました。

という訳で、家に限らず色々な場所でも気を付けることにしました。

編集後記